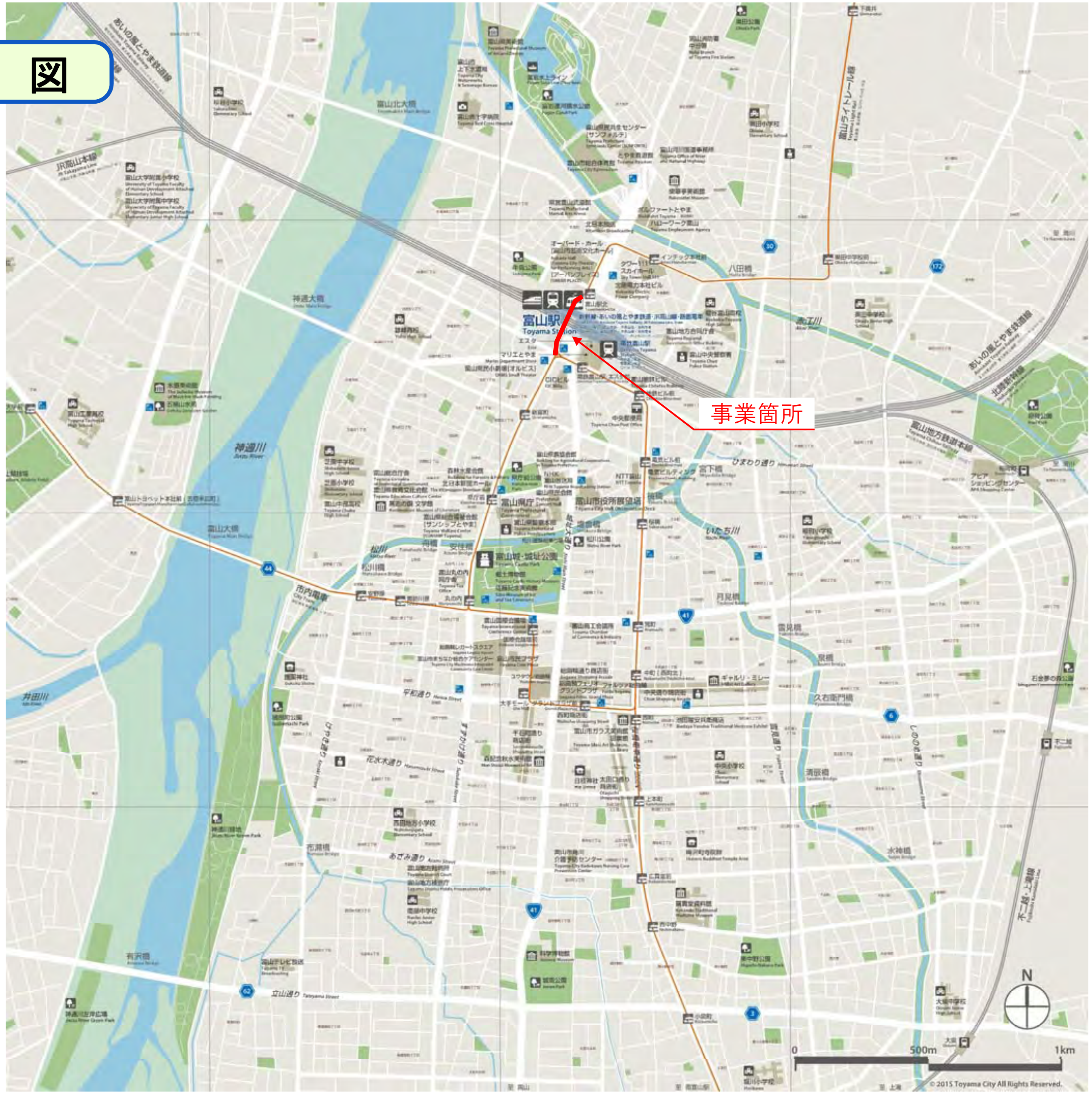
事 業 概 要

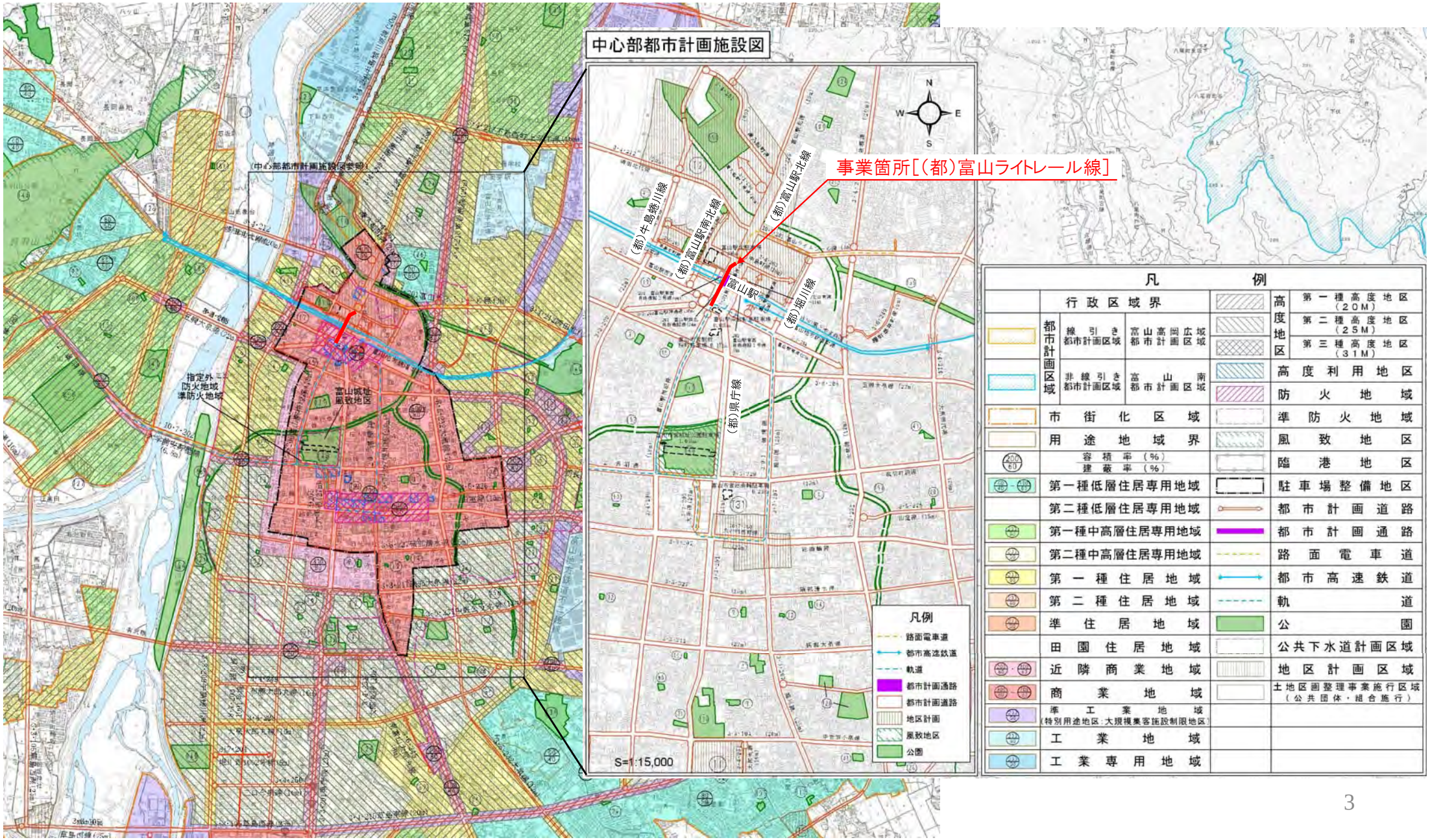
応募No.	１２		
事業主体	富山市	実施都市名	富山市
応募者名	富山市		
ふりがな 事業名称	ろめんでんしゃなんぼくせつぞくじぎょう 路面電車南北接続事業		
事業概要 （400字以内）	富山市では、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を実現するため、公共交通活性化の主要プロジェクトであるLRTネットワークの形成に取り組んでおり、平成18年4月には全国初の本格的LRTとなる富山ライトレールが開業し、平成21年12月には市内電車の環状線化など、様々な施策を推進してきました。 こうした中、富山駅では南側を運行する市内電車と北側を運行する富山港線を富山駅の高架下で接続する路面電車南北接続事業を進め、第1期事業として、平成27年3月の北陸新幹線開業にあわせて南側の市内電車を新幹線高架下まで延伸しました。 その後、在来線の高架化に伴い、北側の富山港線を在来線高架下まで延伸する第2期事業を進め、令和2年3月21日に路面電車の南北接続が完成し、富山駅における交通結節機能が大幅に強化されるとともに、富山駅を中心とした全長約15kmのLRTネットワークが形成されました。		
事業規模	事業延長	約250m（第1期事業：約160m、第2期事業：約90m）	
	幅　　員	15.5m	
	事業期間	平成23年度～令和元年度	
	事 業 費	約40億円	

事業位置図



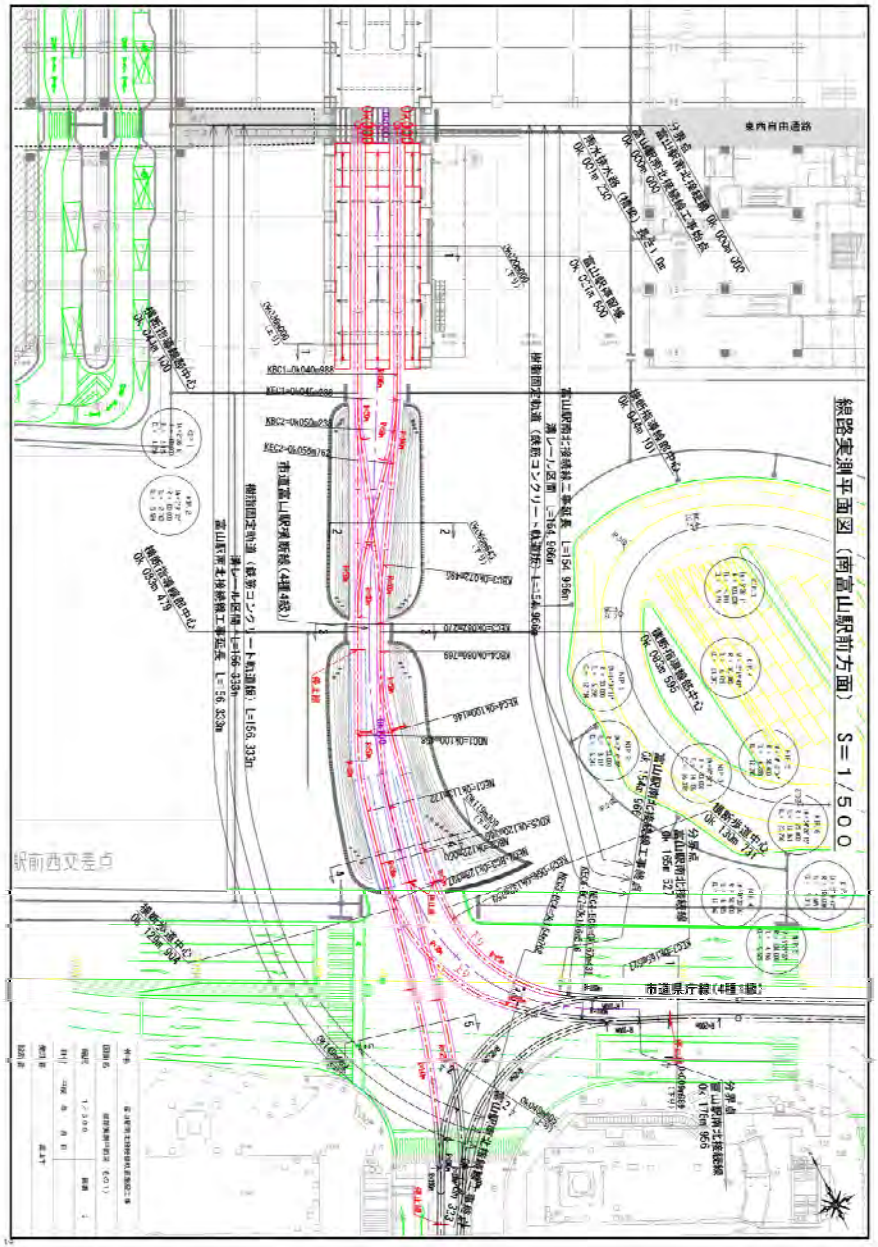
事業箇所
富山駅
Toyama Station
神通川
富山県庁
富山市役所展望塔
富山城・城址公園
いたち川
神通大橋
富山大橋
市内電車
富山ライトレール
あいの風とやま鉄道
JR高山本線
北陸新幹線
富山地方鉄道本線
八田橋
N
0
500m
1km
© 2015 Toyama City All Rights Reserved.

都市計画図(用途地域図)

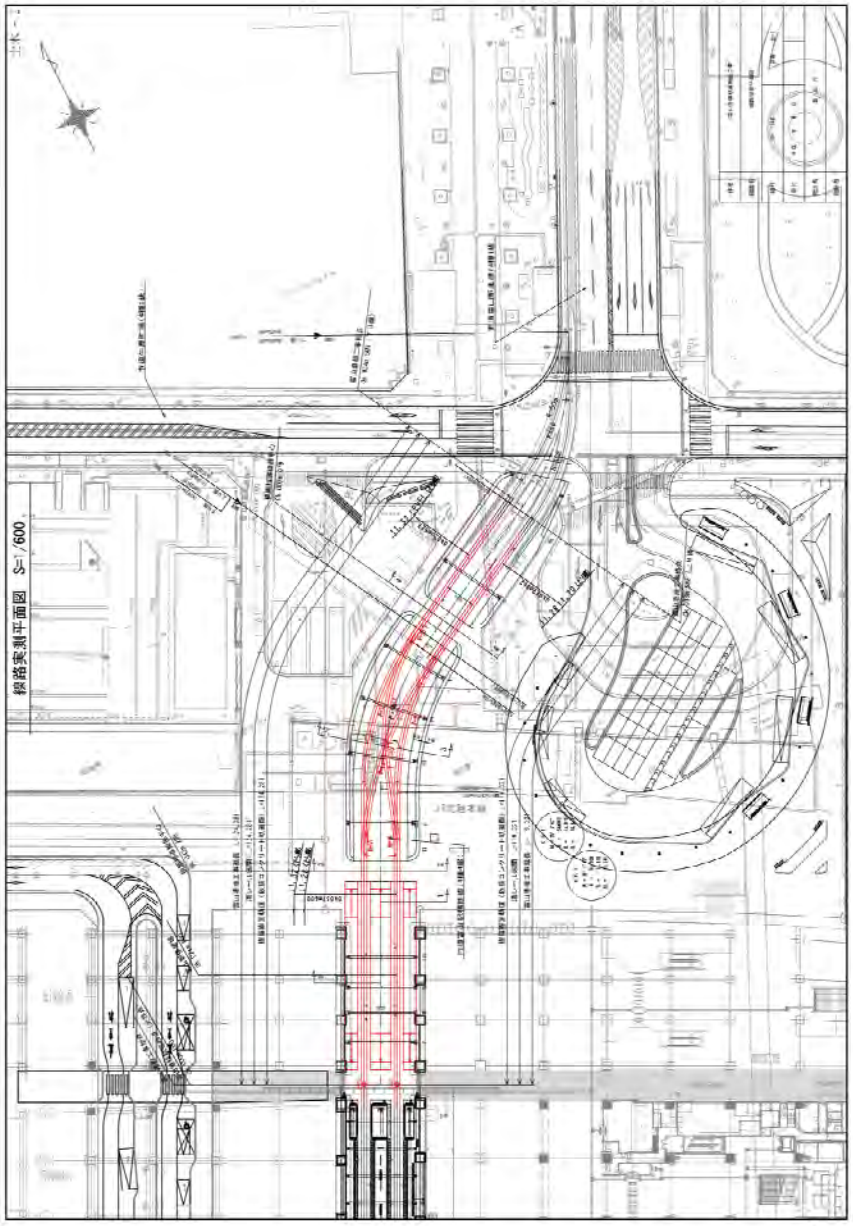

中心部都市計画施設図
事業箇所[(都)富山ライトレール線]
(都)牛島蔵川線
(都)富山駅南北線
(都)富山駅北線
(都)堀川線
(都)県庁線
富山駅
N
W
E
S
S=1:15,000
凡例
路面電車道
都市高速鉄道
軌道
都市計画通路
都市計画道路
地区計画
風致地区
公園
凡例
行政区域界
都市計画区域 線引き 都市計画区域
富山高岡広域都市計画区域
非線引き 都市計画区域
富山南都市計画区域
市街化区域
用途地域界
容積率（%）
建蔽率（%）
第一種低層住居専用地域
第二種低層住居専用地域
第一種中高層住居専用地域
第二種中高層住居専用地域
第一種住居地域
第二種住居地域
準住居地域
田園住居地域
近隣商業地域
商業地域
準工業地域（特別用途地区・大規模集客施設制限地区）
工業地域
工業専用地域
高度地区 第一種高度地区（20M）
第二種高度地区（25M）
第三種高度地区（31M）
高度利用地区
防火地域
準防火地域
風致地区
臨港地区
駐車場整備地区
都市計画道路
都市計画通路
路面電車道
都市高速鉄道
軌道
公園
公共下水道計画区域
地区計画区域
土地区画整理事業施行区域（公共団体・組合施行）

平面図

第1期事業

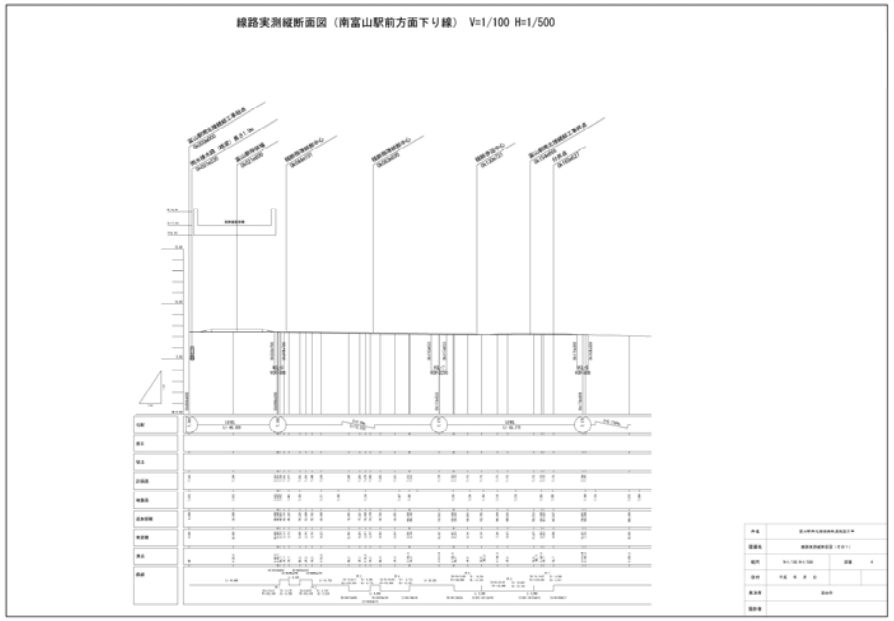


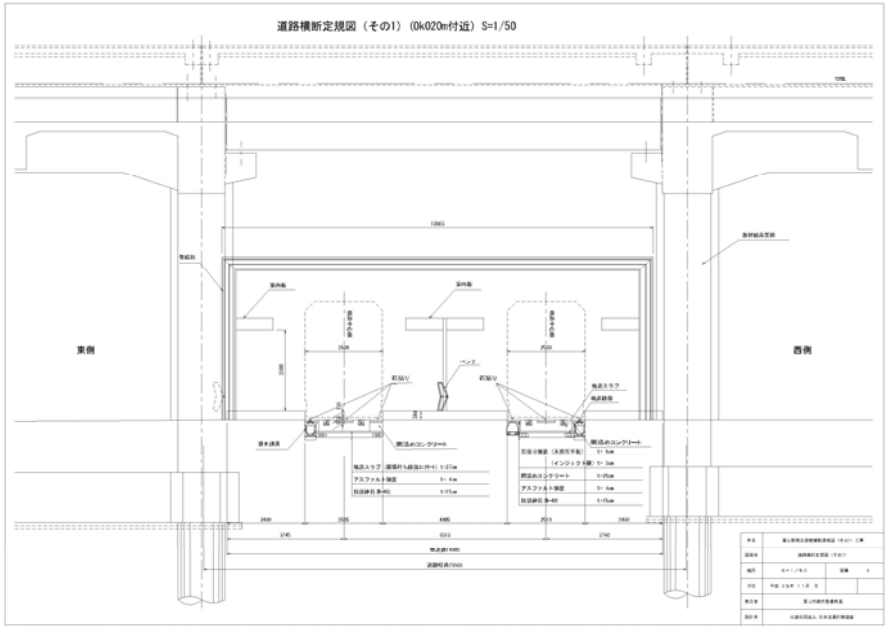
第2期事業



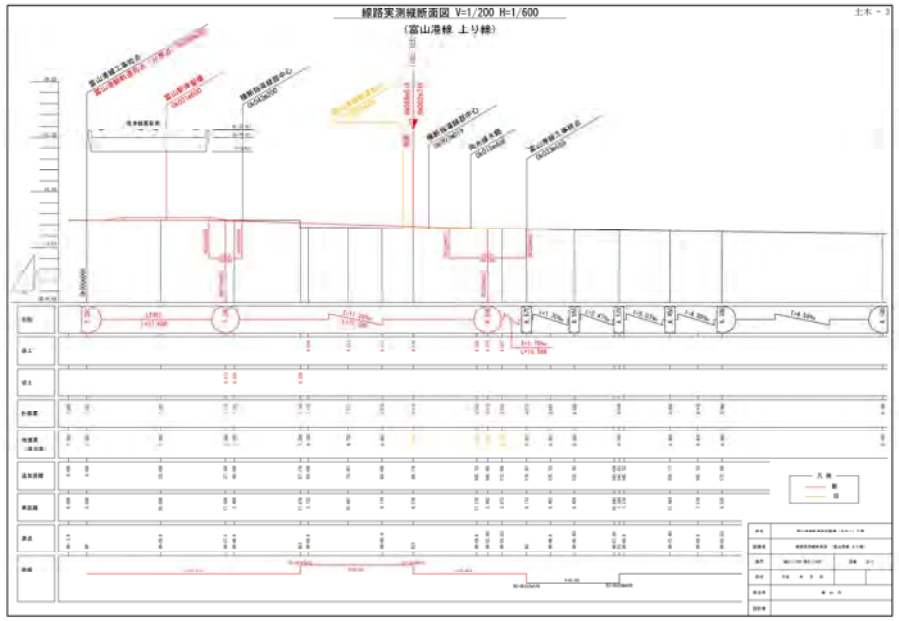
縦断図・横断図

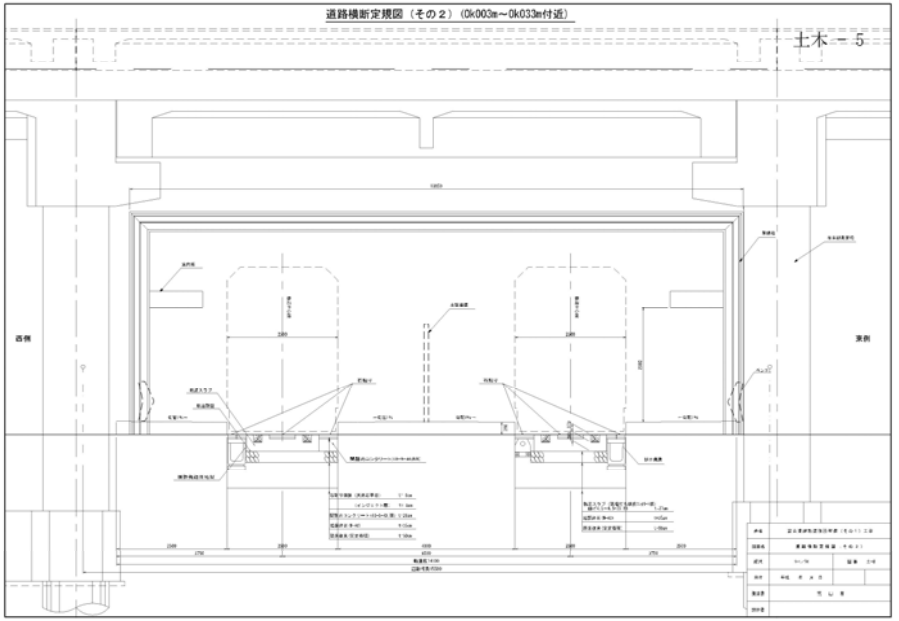
第1期事業



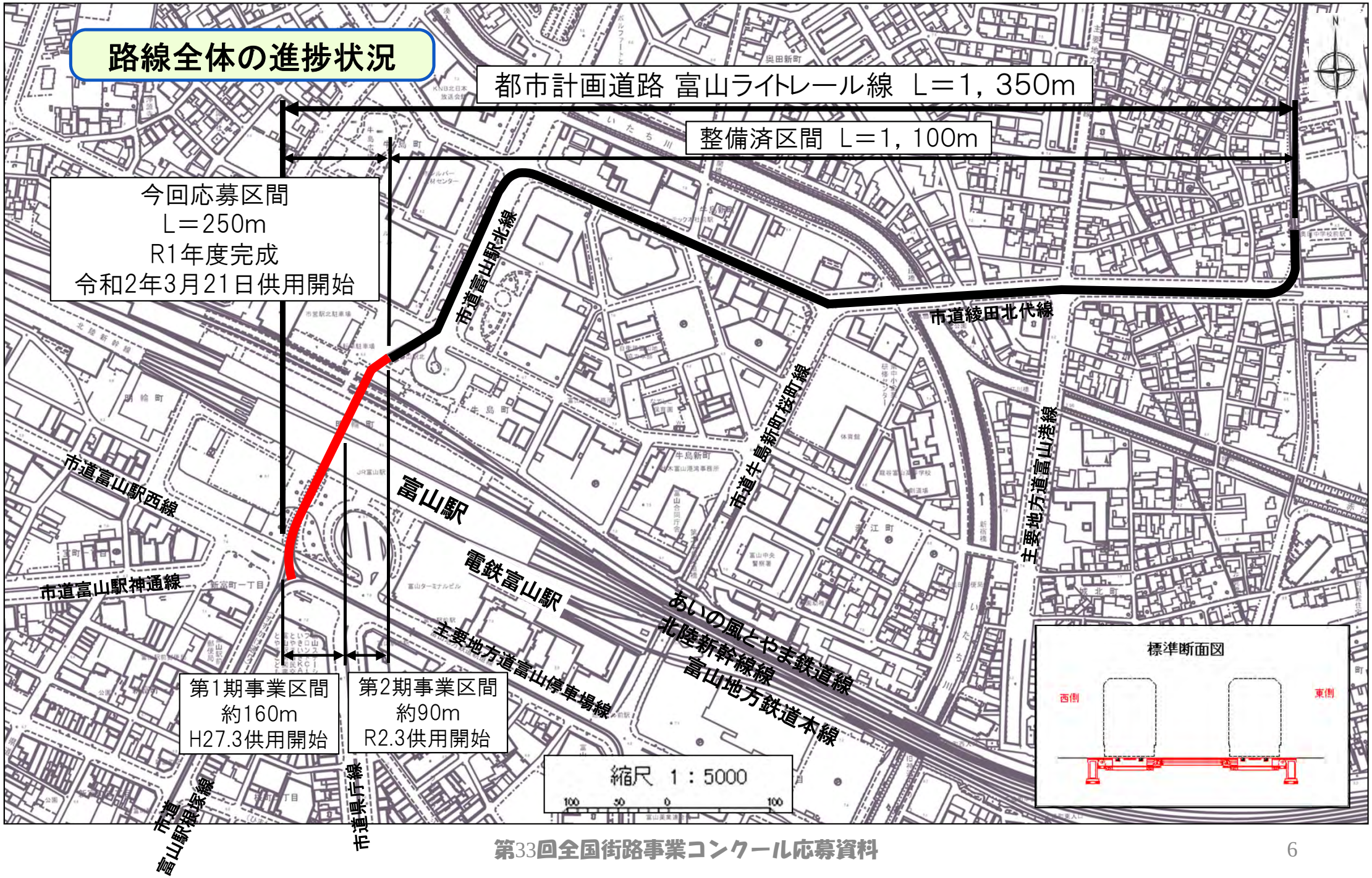


第2期事業





路線全体の進捗状況


都市計画道路 富山ライトレール線　L＝1，350m
整備済区間　L＝1，100m
今回応募区間
L＝250m
R1年度完成
令和2年3月21日供用開始
第1期事業区間
約160m
H27.3供用開始
第2期事業区間
約90m
R2.3供用開始
市道富山駅北線
市道綾田北代線
市道牛島新町桜町線
主要地方道富山港線
市道富山駅西線
市道富山駅神通線
富山駅
電鉄富山駅
主要地方道富山停車場線
あいの風とやま鉄道線
北陸新幹線線
富山地方鉄道本線
市道富山駅根塚線
市道県庁線
縮尺　1：5000
標準断面図
西側
東側

事　業　前　写　真

事　業　後　写　真

第1期事業（富山駅南口）

平成22年12月撮影

平成29年5月撮影

第2期事業（富山駅北口）

平成30年6月撮影

令和2年3月撮影

事　業　前　写　真

事　業　後　写　真

第2期事業（富山駅停留場）

平成30年7月撮影

令和2年3月撮影

平成30年7月撮影

令和2年3月撮影

事業効果アピール資料

鉄道との乗継利便性の向上

新幹線高架下（新幹線改札口の前）に
路面電車停留場を設置（全国初）

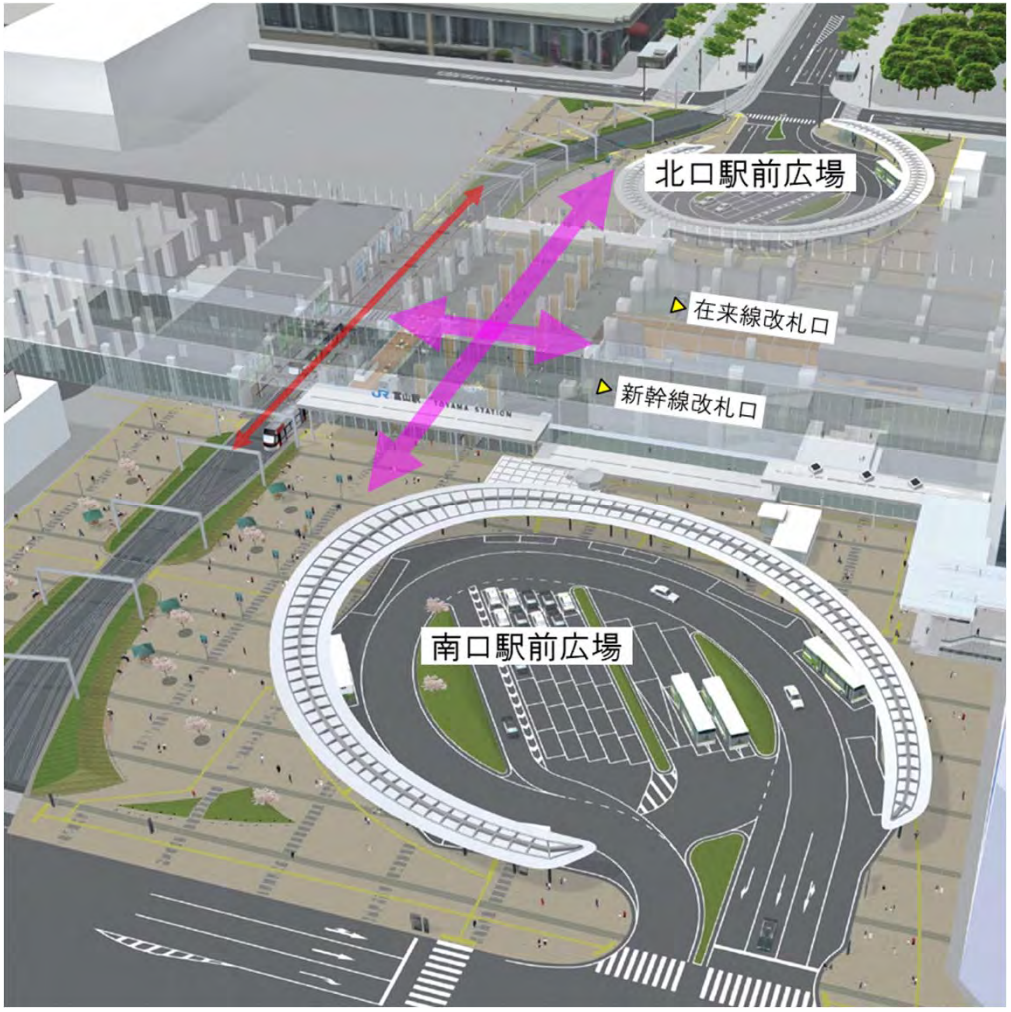
乗継の分かり易さ
（目の前に路面電車が見える）

乗車待ち環境の改善
（雨や雪を気にせず安全・快適に）

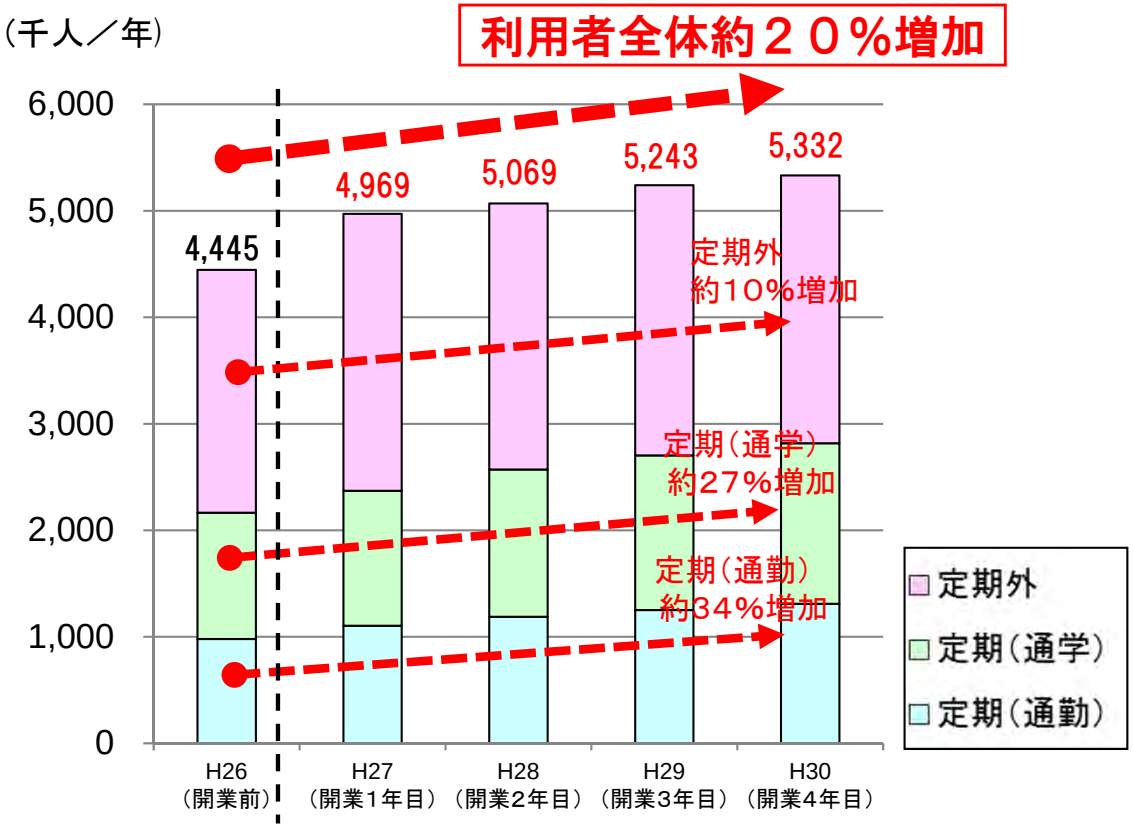
事業効果アピール資料

富山駅における交通結節機能の強化

新幹線や在来線から路面電車へのスムーズな乗り換えが可能
⇒公共交通の利便性が格段に向上



■路面電車（市内電車）利用者数（H26～30）



市内電車に加えて、
富山駅北側の富山港線や路線バス、タクシー利用者も増加

事業効果アピール資料

トータルデザイン

軌道施設の整備にあわせて、魅力ある都市景観を形成

デザインコンセプト

『富山の象徴的景観となるLRT空間の創出』

門型の架線柱を南口駅前広場から北口駅前広場まで連続的に配置し、富山駅南北の市街地をつなぐ交流の軸を表現

▲連続的に配置した門型架線柱

富山の先進性の象徴として、富山駅の高架下空間をLRV（低床式車両）のショーケースのような空間を演出

▲富山駅の高架下空間（富山駅停留場）

富山の工芸ガラスを組み合わせたアートガラスパネルを設置し、富山の『山と海の文化、その融合』を表現

▲ﾄﾗﾝｼﾞｯﾄ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ･ｳｫｰﾙ

苦労や工夫等アピール資料

工程管理及び安全管理

富山駅の周辺では、北陸新幹線の建設、在来線の高架化（連続立体交差事業）、都市計画道路や駅前広場を整備する土地区画整理事業、自由通路の整備、高架下店舗工事など、近接した複数の工事を並行して進める必要があり、工事関係者による調整会議を毎月開催しながら、作業手順や作業ヤード、工程調整を綿密に行うことにより、限られたスペースで計画どおりに進めることが可能となった。

▲施工状況（軌道路盤の敷設）

富山駅周辺整備事業を構成する6つの事業

1. 北陸新幹線建設事業
2. 富山駅付近連続立体交差事業
3. 関連街路事業
4. 富山駅周辺地区土地区画整理事業
5. 自由通路整備事業
6. 路面電車南北接続事業

【６つの整備事業の位置図】

受賞歴・報道資料

一般社団法人 全日本建設技術協会

平成27年度全建賞受賞事業

路面電車南北接続第1期事業

富　山　市

（平成28年６月）

GOOD DESIGN AWARD

2017　2017年度　から 2017年度　特別賞を選択　詳細検索を表示

GOOD DESIGN AWARD | グッドデザイン賞

ツイート　いいね！

受賞対象名	駅前広場、高架下自由通路、LRT軌道 [富山駅南口駅前広場・西口交通広場・南北自由通路・東西自由通路・LRT軌道及びホーム]
事業主体名	富山市
分類	公共用の建築・施設

受賞歴・報道資料

R2.3.20日本経済新聞

日本経済新聞

朝刊・夕刊　ストーリー　Myニュース

トップ　速報　マネー　経済・金融　政治　ビジネス　マーケット　テクノロジー　国際　オピニオン　スポーツ

「100年の夢」実現　富山の路面電車、南北接続で発車式

2020/3/20 19:10

保存　共有　印刷　その他

発車式で富山駅の北側から南側の市街地へと向かう路面電車=写真(右)

富山駅（富山市）で20日、駅を境に南と北に分断されていた路面電車が接続されることを祝う発車式が開かれた。21日に始まる直通運転に先立ち、富山市の森雅志市長や赤羽一嘉国土交通相らが路面電車に乗り込み、駅の北側から新幹線駅を「貫通」して駅南側の中心部を巡った。路面電車の南北接続は鉄路で分断されていた街が一つになる富山市民の「100年の夢」。記念行事には多くの市民も駆けつけた。

【関連記事】
路面電車が新幹線駅「貫通」　富山駅南北の路線接続

「市民のライフスタイルは劇的に変化する」。発車式に臨んだ森市長は、富山駅を起点にした約15キロの次世代型路面電車（LRT）のネットワークが完成したことを受け、そう強調した。

これまで南側は富山地方鉄道、北側は富山市などが出資する第三セクターの富山ライトレール（2月22日付で富山地鉄が吸収合併）が運行し、運賃はそれぞれ一律210円だった。駅の北側から商業施設などが集まる駅南の総曲輪（そうがわ）エリアへ向かうには富山駅で乗り換えて運賃も420円かかっていたが、21日からは富山地鉄が全線の運行を担い、南北を貫いて乗っても210円で済むようになる。乗り継ぎ時間も短縮される見通しだ。

発車式では運行する富山地方鉄道の運転手向けの新制服も披露された（富山駅）

同日、幅38メートルの南北自由通路の開通式も開かれた。南北間の人の移動は今後、さらに容易になる。市は公共交通機関の利便性を高めることで高齢者の外出を促し、健康寿命の延伸にもつなげる狙いだ。富山市在住の50代の男性は「南北接続は画期的なこと。南北の往来の活発化に役立つ」と話していた。

R2.3.20北日本新聞

webun 北日本新聞社

1/3

速報　[全国] 香港米総領事館に４人が亡命申請か

TOP　ニュース　スポーツ　くらし・趣味　防災・安全　こども・NIE　特集・連載

社会

路面電車の南北接続祝う　富山駅で開通式

2020.03.20 18:37

富山駅の南北を走る路面電車をつなぐ南北接続事業が完了し、２０日、富山駅で開通式が行われた。営業運転は２１日から始まる。１９０８年の富山駅開業以降、１００年以上続いた鉄路による南北分断が解消され、富山市のコンパクトなまちづくりは大きな到達点を迎える。

南北接続は、駅の北側で旧富山ライトレールが運行したＬＲＴ（次世代型路面電車）と、南側で富山地方鉄道が走らせる市内電車のレールを駅高架下で結ぶ市の事業。全国にない取り組みで、全長１５・２キロのＬＲＴ網が完成する。事業費は約４０億円。市街地の活性化や通勤通学、買い物の利便性向上が期待される。

式には森雅志市長や赤羽一嘉国土交通相、石井隆一知事、県選出の国会議員ら約１５０人が出席した。森市長は「市民１００年の夢が実現する。まちづくりはこれで終わりでなく、ゆとりと豊かさを実感できる魅力的な都市の創造にまい進していく」とあいさつ。関係者がテープカットし、開通を祝った。

式後は記念乗車があり、女優で特別副市長の柴田理恵さん（富山市八尾地域出身）が、篠原玄太運転士に花束を贈呈。招待客がライトレールの車両だったポートラムと、環状線のセントラムに乗り込んで中心部を周遊した。

接続後は、乗り換えなしに南北を移動できる直通ルートが３路線あり、北端の岩瀬浜と駅南の３方面（環状線、南富山駅前、富山大学前）を結ぶ。富山地鉄が運行を担い、運賃は全線均一で大人２１０円。

◇富山ライトレール　富山市がＪＲ富山港線を引き継ぎ、２００６年に開業した路面電車を運行した第三セクター。市民の間で路線の愛称として根付いた。富山駅北－岩瀬浜の７・６キロを結ぶ。接続に伴い、今年２月に富山地鉄に吸収合併された。

◇富山地鉄の市内電車　富山駅の南側を走り、３方面で運行する。２０１５年の北陸新幹線の開業に伴い、駅高架下まで延伸された。中心部を走る環状線は０９年に開業。大手モールや総曲輪をつなぐ総延長３・４キロの「円」の路線で、反時計回りに走る。

R2.3.22北日本新聞

webun 北日本新聞社

速報　[全国] 案里議員、高裁も保釈認める

TOP　ニュース　スポーツ　くらし・趣味　防災・安全　こども・NIE　特集・連載

社会

富山市路面電車、南北直通運転始まる

2020.03.22 00:43

富山駅の南北を走る路面電車の直通運転が２１日、始まった。市民や観光客が乗車して駅高架下をくぐり抜け、二つの路面電車のレールがつながったことを実感した。中心市街地や沿線では記念イベントが開かれ、市内は祝祭ムードに包まれた。

初日は午前５時台の始発から多くの市民が乗車。駅や沿線ではＬＲＴ（次世代型路面電車）を撮影する人の姿も見られ、「街なかに遊びに行きやすくなる」「駅北を走っていたポートラムが南側を走る風景は新鮮」といった声が聞かれた。富山駅の停留場では多くの人で混雑してダイヤが大幅に乱れたが、２１日午後１１時時点で事故によるけが人はいなかった。

富山市のオーバード・ホールで記念式典があり、森雅志市長や石井隆一知事、佐々木紀国土交通政務官、県選出の国会議員ら約１１００人が出席。森市長は「市民１００年の夢である南北の市街地の一体化が実現する。コンパクトなまちづくりの大きな到達点だ」とあいさつした。

女優で特別副市長の柴田理恵さん（富山市八尾地域出身）と中学生５人が「南北接続が明るい将来の第一歩となるように」と願う都市宣言を読み上げた。出席者はマスクを着用し、体温検査して入場するなど、新型コロナウイルス対策が施された。記念イベントも規模を縮小して行われた。

南北接続は、駅の北側で旧富山ライトレールが運行したＬＲＴと、南側で富山地方鉄道が走らせる市内電車のレールを駅高架下でつなぐ富山市の事業。全国にない取り組みで、全長１５・２キロのＬＲＴ網が完成した。１９０８年の富山駅開業以降、１００年以上続いた鉄路による市街地の分断が解消された。運賃は全線均一で大人２１０円。